

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	夢門塾ゆうゆう高木3組		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	47	(回答者数) 41
○従業員評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 30日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動ごとにスペースを分けた構造化環境が整っており、子どもが見通しを持って安心して過ごせる環境づくりができています。清掃・消毒・空調調整も日常的に行われ、清潔で心地よい空間が維持されています。従業員・保護者双方から高い評価を得ています。	支援開始前の打合せで役割分担や支援目的を共有し、チームで連携した支援を行っています。見守りが必要な曜日には勤務調整を行うなど、安全配慮も徹底されています。	アセスメント方法や評価基準の整理・統一を行い、より客観的で質の高い支援計画作成につなげていきます。
2	個別支援計画の作成・モニタリング・共有が非常に丁寧で、児童発達支援管理責任者を中心に全職員でケース検討を行い、「子どもの最善の利益」を意識した支援が実践されています。計画に沿った支援が安定して提供されています。	活動プログラムが固定化しないよう、季節行事や子どもの興味関心を取り入れた活動を計画しています。自己選択・自己決定を促す支援も積極的に取り入れています。	活動内容や行事の情報発信を工夫し、保護者が日々の支援内容をよりイメージしやすい形で伝えていきます。
3	保護者との信頼関係が非常に良好で、「安心して通わせられる」「子どもが楽しみにしている」「丁寧に関わってもらえている」といった声が多く見られます。日々の連絡や送迎時の対応が満足度の高さにつながっています。	事故防止・防災・BCP・虐待防止・アレルギー対応など、安全管理体制が整っており、訓練や研修を継続的に実施しています。	家族支援や保護者同士の交流機会を、参加しやすい方法で充実させていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援終了後の振り返りについて、当日十分な時間を確保できない日があり、翌日のミーティングで共有する場合があります。	送迎や業務時間の関係で、振り返り時間確保が難しい日があります。	短時間でも共有できる仕組みを整え、振り返りの質を高めま す。
2	外部機関（第三者評価・専門機関）との連携機会が現時点では限定的です。	外部評価や専門連携については、体制づくりや調整が必要な 状況です。	外部研修や専門機関との連携を段階的に進め、支援の質向上 につなげます。
3	保護者支援について「もう少し相談や情報提供の機会が欲しい」という声があります。	保護者交流は日程調整や参加のしやすさに配慮が必要です。	保護者支援プログラムや相談機会を増やし、家族支援の充実 を図ります。